

(牧師室より)

[南北の平和的統一]

姜尚中氏は『朝鮮半島と日本の未来』の中で「本書は、ある意味で金大中氏との出会いを通じて得られた『太陽政策』を、私の知見と私なりの言葉で語り直そうとする試みでもある」と述べています。「太陽政策」とはなつかしいですね。以前西新井教会時代に礼拝に在日の医師の兄弟が時々礼拝に見えていました。そして時に韓国から来るお父さんと何度か見えました。このお父さんが金大中氏のブレーンの池明観さんであることを知って、礼拝後に「太陽政策」について語ってもらったことです。それは要するに北朝鮮に対して経済支援を行うということでした。姜氏は本書の中で金大中氏の南北の「三段階統一論」にふれています。それは「国家連合」→「連邦制」→「統一国家」というプロセスをふんでの統一構想というもので、それぞれの段階には10年は要する、との考え方。この方向性は金大中氏と北の金正日氏との間にかわされた「南北共同宣言」(2000年6月)で合意を見ているのですね。それにしても統一までは少くとも30年はかかる見通しで息の長い取組みが求められます。在日の姜氏は南北の平和的統一を強く願っていることです。姜氏はこのために日本の積極的な関与を期待しそれは日本にとり平和的特需となると見えています。私達も平和的統一を祈りたいものです。